



循環器内科

初期臨床研修

(1) 1年次ローテーション

他の内科系診療科とともに、病棟での患者診療とケアの基本を習得することを目標とする。

(2) 2年次ローテーション

循環器内科の専門性、あるいは関連診療科の専門性を見据えた診療技能を習得することを目標とする。

2年目に循環器内科とともに、ローテーションが推奨される診療科としては以下があげられる。

- ICU、救急部
- 麻酔科
- 放射線科
- 心臓血管外科

後期研修

(1) 専門研修1年目

担当医として上級医師の指導のもと入院患者の診療にあたる。

(2) 専門研修2—3年目

主治医として初期研修医とともに入院患者の診療にあたる。外来診療を行う。

■当科であつかう主な疾患と研修可能な手技は以下のとおり。

- 冠動脈疾患（心臓カテーテル検査、冠動脈インターベンション）
- 心不全（植え込み型除細動器植え込み手術、心室再同期療法）
- 不整脈（ペースメーカー植え込み手術、カテーテル焼却術による不整脈治療）
- 大動脈疾患（大動脈ステント植え込み術）
- 末梢血管疾患（末梢血管インターベンション）
- 成人の先天性心疾患
- 高血圧

■到達目標

- 循環器内科医として、幅広く知識と基本診療技術をマスターし、検査・治療プランを自身で組み立てられる。
- 手技に関しては、補助から開始し基本的な症例では独立して完遂できる。
- 心臓超音波検査、運動負荷検査、心臓核医学検査が独立して行うことができ結果を解釈できる。
- 心臓リハビリテーション指導ができる。
- 症例報告または臨床研究の論文を発表する。
- 内科学会認定内科医の資格を取得する。さらに循環器専門医をめざす。(循環器専門医の資格を取得するためには、「日本循環器学会の会員歴が6年以上」の条件以外に、認定内科医の資格を有していることが必要であり、その取得には初期研修を含め教育認定施設で3年以上の内科臨床研修の後、試験に合格しなければなりません。当科で取得可能な認定医・専門医としては、循環器専門医以外に、日本心血管インターベンション学会認定医・指導医、日本心血管カテーテル治療学会認定医・指導医、超音波専門医・指導医などがあります)。

